

【新 Quick Master ミクロ経済学 [第5版] 訂正表】2016年08月23日現在

ページ	問題番号 タイトル	行数	誤	正	備考
15	3 予算制約式 と最適消費点	5行目	切片 $\frac{M}{P_y}$, 傾き $\frac{P_x}{P_y}$ の直線	切片 $\frac{M}{P_y}$, 傾き $-\frac{P_x}{P_y}$ の直線	2016/08/23 訂正
25	過去問・必修問 題解説	10行目	$\frac{\Delta U}{\Delta X} = 1 \times X^2 Y^{1-1} = X^2$	$\frac{\Delta U}{\Delta Y} = 1 \times X^2 Y^{1-1} = X^2$	2016/08/23 訂正
169	5 費用関数を 用いた最適生産 問題	解法2 Step.2	$\frac{\Delta Q}{\Delta L} = -2Q^{2-1} + 4Q^{1-1} = 0$	$\frac{\Delta \pi}{\Delta Q} = -2Q^{2-1} + 4Q^{1-1} = 0$	2016/01/13 訂正
239	問題57 解説	18行目	$\frac{3}{4}$ になるから	$\frac{4}{3}$ になるから	2016/08/23 訂正
389	問題99 解説	2行目	戦略を変更したプレイヤーの利 得が必ず減少するという性質	戦略を変更したプレイヤーの利 得が増加することはないという 性質	2016/01/13 訂正
393	問題101 解説	19行目	$E \pi_B = Q \left(\frac{4}{5} - P \frac{2}{5} \right) + \frac{3}{5} - P \frac{2}{5}$ ……②	$E \pi_B = Q \left(P \frac{4}{5} - \frac{2}{5} \right) + \frac{3}{5} - P \frac{2}{5}$ …… ②	2016/08/23 訂正
453	必修問題	下から 2行目	130 という期待効用を実現する確実な所 得①(=m)と、期待所得③の差額がリスク プレミアムである。	期待所得①と130 という期待効用を実現 する確実な所得③(=m)の差額がリスク プレミアムである。	2016/08/23 訂正

※「掲載日」は、上掲訂正情報がLECホームページの『公務員 テキスト改訂・修正情報一覧』
(<http://www.lec-jp.com/koumuin/kaitei>)に掲載された日付です。